

竹原管内景況調査

6月の景況DIは、製造業・非製造業ともほぼ横ばい

当会議所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、平成30年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

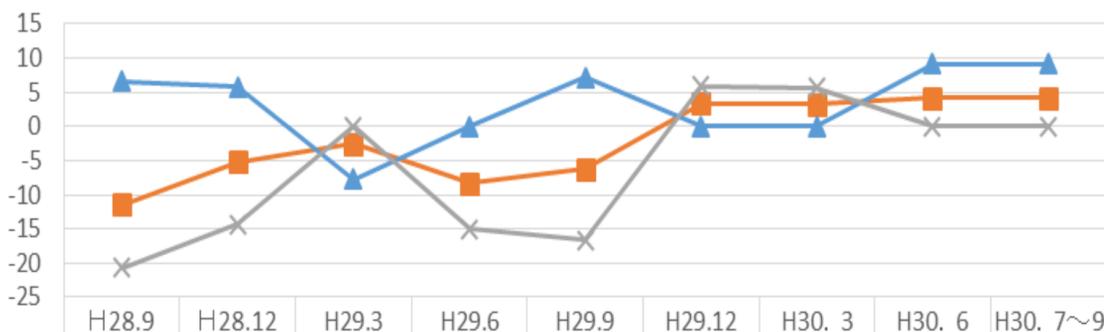
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
平成30年3月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	11
建設	6	2
小売	21	5
サービス	13	6
合計	57	24

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30. 3	H30. 6	H30. 7~9
全体	-11.4	-5.2	-2.5	-8.3	-6.2	3.3	3.2	4.2	4.2
製造	6.6	5.8	-7.7	0	7.2	0	0	9.1	9.1
非製造	-20.7	-14.3	0	-15	-16.6	5.9	5.6	0	0

6月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は9.1ポイント増加し、非製造業は5.6ポイント悪化しています。6月と比べて7月～9月までの見通しは、製造業・非製造業ともに同ポイントでした。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

《製造業》

- ・景況としては、依然消費者の節約志向は強く、コンシューマー向けの商品の販売は厳しい状況。一方、付加価値商品については伸長が見られる。
- ・材料価格の上昇のため
- ・海外の動向により、後半の上昇が見込まれる。

《非製造業》

◇建設業

- ・景気は上がり気味だが、人手不足が続いている。

◇サービス業

- ・宴会部門が好調に推移している。

●平成30年度の業界動向の見通しについて

《製造業》

- ・設備投資は、増える見込み。
- ・国内については、合理化や品質向上に向けた投資を予定している。中国でも生産能力アップの設備投資を進める。
- ・昨年積極的に行い、今年度も継続する予定。
- ・省人化の設備投資を実施する。

《非製造業》

◇小売業

- ・新規商品を計画しており、それに伴う設備投資を行う予定。

◇サービス業

- ・軽減税率対策の為、レジを購入予定。

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)